



**妊娠・出産の問題  
悩み相談・理論編**



## ❖はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。  
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## もくじ

1 : ご懐妊バンザ〜イ！！＼(^o^)/.....	4
2 : 不妊治療と鍼灸 .....	9
3 : 妊娠中の背中痛みは50%の妊婦が経験.....	16
4 : 不妊治療をしながら鍼灸や整体をやっても大丈夫なん ですよ.....	20
5 : 妊婦にマッサージで超安産 .....	25
6 : 不妊から妊娠にかけての悩み .....	31
7 : 逆児も治って無事出産と思いきや・・・.....	34
8 : 出産の痛み 陣痛の痛みと帝王切開どちらをとります か? .....	38
9 : 出産の痛み 帝王切開は悪いこと?.....	44
10 : 妊娠8カ月で坐骨神経痛がひどく座ってられないの に受信拒否? .....	55
11 : 東日本大震災の中妊婦がお灸でむくみを改善...	60
12 : 流産後にのどのつまり感や吐き気・背中痛み	

が・・・？ .....	65
13：不育症で2度の流産後に・・・？ .....	72

## ❖ 1 : ご懐妊バンザ〜イ！！＼(^o^)/

去年から、何となく増えてきた不妊治療の患者さん。

そのため、ご懐妊、ご出産の報告は、ここ数カ月多くなっ  
てきている。

しかし、今回は、不妊治療目的ではなく、腰痛や胃腸障害  
で通われていた、お二方から同じ日に懐妊報告がありビッ  
クリ！！

今までにも、不妊に関しては、一言も言ったことがなかつ  
た患者さんから、「私、妊娠は諦めていたんですけど、ここ  
で整体を受け始めて、体調が良くなったおかげか、子供で  
きちゃったみたいなんです。だって、結婚してからもう 10  
年近くも経っているから、絶対できないと思っていたのに、

できたからビックリ！！これは、絶対に整体のおかげだと旦那と話してるんです。」ということ、言っていただけ経験もある。

そういう経験から、女性の治療には、必ず妊娠しやすい身体を目標に、治療を行うようにしてきた。

漢方や鍼灸を学び、脈診を知っている方であれば、理解できると思うが、男性と女性は、脈に違いがあるもの。

脈は、左右の人差し指、中指、薬指の三本で手首の親指側にある動脈拍動部ではかる。

そして、手首側から肘側の三か所に指を置き、手首側から寸関尺という名前をつけ、診断していくのだが。

男性は、手首側の寸が強く、女性は、肘側の尺が強いのが、正常の脈。(違いははっきりとわかるものではなく、ほんの少しの差しかない。)

そして、妊娠すると、尺側の脈が一段と強くなるものなのだ。

ただし、生理前や、生殖器や膀胱などの異常でも強くなり(妊娠の脈とは少し異なるが似ている。)、元気な胎児が育ってない場合は、非常に弱い脈が触れる。

このような診断ができることから、女性の基本的な体調維持を目標に治療を進めていくときでも、妊娠に近い脈を作るよう鍼灸を行うことが多い。

また、整体では、胎児を作りやすい骨盤の形もあり(言葉

では言い表しにくいため、詳細は省かせてもらいます。)、  
この形を目標に調整していくこととなる。

従って、治療を進めていくほど、妊娠する確率が高くなる  
ような治療に、変化していくことになる。

当然、そのような調整をできないほど、体調が崩れている  
人には、体調が整ってからということになるが、どちらに  
しろ、長く調整を続けている人ほど、妊娠はしやすくなる  
のである。

これは、当院の特徴ということではなく、鍼灸や漢方の先  
生であれば、誰もが目標を持って治療に臨んでいけば、で  
きることであると思う。

それが、東洋医学の偉大なところである。



妊娠を希望する方は、まだまだ西洋医学しか知らない人が多いと思うが、漢方や鍼灸に望みを託すのも方法の一つと思うが・・・。

とにかく、今回、懐妊を報告してくれた、お二方が元気なお子様を無事ご出産されるまで、お手伝いができたらと思います。

最後に、**本当におめでとうございます！！**

## ❖ 2 : 不妊治療と鍼灸

先日、患者さんから不妊治療について、コメントをいただきました。

>4月17日（土）に施術を受けました、maruと申します。

>こんにちは。初コメントです。

>半年以上ぶりに来院した時に

>『なかなか妊娠しなくて～』

>と、なんとなくつぶやいた私に

>『うちには不妊治療で通われている人もいますよ。』と。

>『えええっ????』

一般的な感覚として、どうしても、鍼灸＝腰痛・肩こり と

いうイメージがあるようですが、基本的には西洋医学で言われている外科の領域以外は、全て診れるのが鍼灸の世界なんです。

そのため、不妊治療を行われている鍼灸院も多いのではないのでしょうか？

ということで、当院でも不妊治療は行っています。

>確か私はここに2年近く通っているのに

当初は、首と肩の痛みでしたね。

>ブログも時々覗いていたのに、知りませんでした。

すいません、ブログの方には不妊に関する記事が少なかった

たですね！

ランキングを見ていただければ分かる通り、当院に不妊治療で通われている患者さんは意外と多いのです。

>『子作りをし、妊娠し、安定期に入るまでは

>整体やマッサージには行ってはいけません。』

>と、私は勝手な思い込みをしていました。

>それで、半年以上も間を開けてしまったのです。

>来て良かったです。妊娠希望者です。

>よろしくお願ひ致します。

このように思っている方は多いでしょうね。

鍼灸や漢方など東洋医学を取り入れることで、元気な赤ちゃんを産める身体を作ることが可能になります。

不妊治療は病院以外でも出きる方法があることを知っておくと心強いかもしれませんね。

先日も、当院で不妊治療を開始し、目出度くご懐妊され喜んでいたところ、病院で稽留流産と診断され、非常に落ち込んで来院された患者さんがいました。

ところが、脈を診ると、まだ胎児は元気に育っている模様。

その旨を患者さんに伝え、再度病院で検診を受けたところ、元気な赤ちゃんを確認できたということもありました。

このように、西洋医学と東洋医学では、同じ患者さんであっても、全く違う観点で診断していきますので、どちらか一方の医学だけでなく、同時進行で不妊治療を行っていくと、効果は倍増します。

＞胎児が育っているか、脈で分かるんですね！

鍼灸や漢方の世界では、検査の器具がない時代に発展した医学という背景から、人間観察による診断に秀でています。

その手段の一つに脈診と言うものがあり、この脈診で身体の状態をほぼ把握できると言ってもいいぐらいの、すぐれた診断方法なんです。

西洋医学でないと、身体の中の情報を映像で診ることはできません。

しかし、病院の先生（最近に限って）は、ほとんど身体に触れないことで、大事な情報を見失っていることが多いようです。

それに対して、我々鍼灸師は、大がかりな機械などで検査をすることはできませんが、治療時間のほぼすべての時間で、患者さんに触れています。

当然、そこから得られる情報も多くなるのです。

従って、中からの情報（西洋医学）と、外からの情報（東洋医学）を織り交ぜた方法で進めていった方が、改善するスピードが速まるのです。

特に、不妊治療に関しては、そのように感じています。

このコメントをくださった患者さんも、稽留流産を経験しているようで、妊娠には非常に強い思いがあることが伝わってきます。

少しでも、良い方向へと手助けができればと思っています。

m a r uさん、これから頑張りましょうね！

このようなコメントは、大歓迎なので、他の方々もどんどん書き込んでくださいね！

---

コメントは下記にありますので、お願いします。



## ❖ 3 : 妊娠中の背中の痛みは50%の妊婦が経験

妊娠するって、すごくうれしい事ですよ！

しかし、その妊娠中に、苦しい思いをする事も多いですね。

つわりや腰痛が代表的なつらさ。

と思いきや、妊婦の50%もの方が、背中の痛みを苦しんでいるというデータがあるそうです。

当院でも、妊娠中の方で、背中が痛いとおっしゃる方がいます。

この妊娠中の背中の痛み、胎児が大きくなればなるほど、

痛みが強くなる事が多いんです。

なぜかって？

それは、妊婦であれば実感すると思います。

胎児が大きくなると、お腹が重く感じてきます。

お腹が重ければ、当然お腹を持ちあげなければなりません。

通常、お腹を持ち上げるのは、腰をそらせれば何なくできます。

しかし、妊娠中は、腰回りが動きにくいいため、もう少し上の背中の筋肉を使って、腰をそらせるように力を使うんです。

そのため、背中の筋肉を痛めるケースが増えるんですね。

妊娠前から、ブリッジが得意であった方や、相当重い荷物を毎日持ち上げるような仕事をしていれば、それほど、つらく感じる事がないこの動作。

「運動をした事がない。」、もしくは、「最近めっきり身体を動かさなくなった。」いう方は、妊娠中に背中を痛めてしまう可能性が高くなってしまうんです。

そんな、背中の痛みで苦しんでいる妊婦の方々に、すごい助っ人を発見しました。

[妊娠中の腰や背中の痛みなら【ベリーブラ】ウォーキングにも！](#)

この「ベリーブラ」は、妊娠中にたるんでしまう部分をサポートしてくれるため、胎児の重さを緩和してくれます。

また、骨盤を支える筋肉が弱い方は、胎児が重くなるにつれ、どんどん骨盤が開いてしまい、腰痛の元を作ってしまうんです。

しかし、この「ベリーブラ」は、そんな骨盤も優しくサポートしてくれるという優れ物。

ベリーブラを使用すれば、妊娠中のウォーキングも楽々安心です。

## ❖ 4 : 不妊治療をしながら鍼灸や整体をやっても大丈夫なんですよ

不妊治療で、またまたご懐妊？

まだ、確定ではないですが、とりあえず陽性反応が出たという事で、ご報告をいただきました。

この方は、2年前から肩こりで通われていました。

それが、通い始めて、1年後、突然来院されなくなったんです。

その頃は、主訴である肩こりが全く出なくなっていた事もあり、完治したのだろうと思っていました。

それから、半年が過ぎたころ、久しぶりの連絡。

話を伺ったところ、

「この半年間は、年も年なので、婦人科と漢方で不妊治療に力を入れていたんです。」

と、いうことでした。

それに対して、私は、

「それであれば、うちの治療も併せて不妊治療を行った方が、効果高いと思いますよ！」

その瞬間、

「え～！！先生のところでも不妊治療やってたんですか～！？なら、あのまま通ってて良かったんじゃないですか。何か、勝手な想像で、不妊治療中は、整体とか受けない方が良いのかと思って、仕方なく止めてたのに～！！  
これからは通います。ここで、不妊治療お願いします。」

このような会話の後から、不妊治療が始まりました。

そして、本日、当院で不妊治療を開始してから、11回目の治療。

前回は、首と腰がヘルニアに近い症状となっていたため、そちらが気になり、

「首や肩の痛みはどうか？」

「肩はそれほどつらくないですが、腰は結構つらいです。」

ということで、今日は、腰をメインに治療を行おうと思っ  
ていると、

「先生、実は妊娠陽性反応が出ました。」

と、思わぬ告白！！

「やった～あ！！」＼(^o^)/

しかし、まだ婦人科での診断はされていないらしい。

身体の方はどうかというと、少し微妙な感じ。

お灸治療を行っていくと、胎児の脈が現れ始めた。



これは、まさしく。

しかし、この暑さ。

そして、体調はあまり良くない。

何とか、持ちこたえてくれればいいのだが、まだまだ安定期に入るまでは、心配が付きまとう。

とはいっても、真剣に不妊治療に取り組んだ結果、待望の妊娠の可能性である。

可愛い赤ちゃんが生まれることを期待しよう。

## ❖ 5 : 妊婦にマッサージで超安産

妊娠 8 カ月で坐骨神経痛がひどく、手当たりしだいに自宅から通える範囲のマッサージ、整体、治療院などへ診てもらえるか電話をするが、どこからも断られ、途方に暮れているところ、当院へ電話をしてきた。

「妊娠 8 ヶ月なんですが、診てもらう事は可能でしょうか？」

「はい、大丈夫ですよ！」

「ええ？坐骨神経痛がひどくて、座ってられないんですが、診てもらえるんですか？」

「はい、大丈夫です。」

「どこに電話かけても、妊婦で 8 カ月というのと、断られるんですが、本当に大丈夫なんですか？」

「はい、大丈夫です。」

ということで、来院。

マッサージを 2 度ほど行くと、嘘のように坐骨神経痛がなくなり、出産予定日 1 週間前に来院した時には、足のむくみもなく、「この状態なら、安産で行けそうですね！！」と言って、出産前最後のマッサージを行い終了とした。

そして、今回、出産後 2 ヶ月経ち、久しぶりの来院。

まず、状態を聞くと、

「メチャメチャ調子いいです。」

「先生が言ってたように、超安産で生まれたので、全然苦  
しまずに済みました。」

「おかげ様で赤ちゃんも元気です。」

「全然痛みもなかったから、出産ぎりぎりまでやりたい事  
が出来たし、出産の状況を twitter で流す事もできました。」

ということだった。

とりあえず、出産後、骨盤の異常が出ているか確認のため  
来院したとのこと。

通常、出産後には、骨盤に異常が現れる事が多いが、骨盤

にも恥骨にも歪みが出ていない。

唯一、出ている反応としては、腰のむくみである。

これを今回は、お灸で調整していく事にした。

すると、腰のむくみに関しては、出産が原因ではなく、出産後の赤ちゃんの抱き方に原因があった事がわかった。

そのため、腰のお灸治療後、腰に負担のかからない抱っこの仕方を指導し、終了とした。

会計時には、

「先生、次はいつ頃来たら良いですか？」

「どんなペースで通うのがベストなんでしょうか？」などと聞かれ、

「今回診た感じだと、抱っこの仕方さえ気をつけていれば、何の問題もなさそうなので、問題が出てからでいいですよ。」と、答えた。

すると、「よかったあ！」と、笑顔で帰って行かれた。

なぜ、他の治療院では、この方の受け入れをしなかったのか不思議でしかたない。

当院では、妊娠初期から出産直前・直後、どのタイミングでも、全く問題なく受け入れてます。

当然、医師の管理が必要な状態は別として、自宅で生活で

きているレベルの妊婦さんに対しては、全く問題なく治療を行えます。

妊娠中の症状は、薬を使えない分、苦しみに耐えなければなりません。

しかし、苦しんでいるのは、胎児に伝わってしまいます。

できれば、ニコニコの状態で出産までいけると理想ですね！

妊婦の受け入れをしてくれる治療院が、どんどん増えてくれる事を祈ってます。

## ❖ 6：不妊から妊娠にかけての悩み

不妊治療は、専門の病院で。

妊娠中は、産婦人科医で診てもらうというのが、基本的な捉え方だと思います。

しかし、

- ・なかなか不妊治療がうまくいかず、いつまでも妊娠できない。
- ・不妊治療による精神的苦痛に耐えられない。
- ・不妊のため、ホルモン療法を行うが、妊娠するどころか、副作用で体調不良となっている。
- ・やっとの思いで妊娠するが、つわりのつらさに耐えられない。



・妊娠したはいいが、腰痛がつらくてたまらない。

などなど、専門の病院で診てもらっているにもかかわらず、  
悩みが尽きない不妊から妊娠までの流れ。

意外と知られていない東洋医学の効果。

上記の悩みは、全て東洋医学でカバーできるんですよ！

私が行っている鍼灸はもちろんの事、漢方も不妊から妊娠  
中までの悩みには、かなり強さを発揮します。

この現実を知らない人が多すぎて、心底苦しんでいる人と、  
「何でうちに来ないんだろうなあ？」と、嘆いている治療  
家及び薬剤師の先生は多いはず。

科学的な検査はもちろんあった方が、体内の状況が一目瞭

然。

そのため、専門の病院で診てもらうのは当たり前。

しかし、客観的に診てもらうのは、あくまでも状況判断として、その先は、東洋医学を用いた方が、よっぽど心も楽だし、身体の体調維持もしやすいもの。

どうしても、病院側からの見る目は、子宮と卵巣に集中する。

しかし、東洋医学は、あくまでも全体のバランスを優先する。

そのため、全く違ったアプローチができるんです。

従って、不妊から妊娠、出産までの心や身体の悩みに関しては、西洋医学と東洋イ医学の両方を取り入れていった方が、納得のいく結果が得られやすい。

## ❖ 7：逆児も治って無事出産と思いきや・・・。

出産おめでとうございます！！

今回は、嬉しいお知らせをいただきましたので、ブログでもご報告させていただきます。

内容は、

—— ここから ——

お久しぶりです。

9月19日に2990gの女の子を出産いたしました。

胎児とお腹がやたら大きいといわれ続けていましたが生まれてきた子は普通サイズでした。

前回の治療後、無事逆子は治ったのですが、前期破水したにもかかわらず子宮口がまったく開かないという状態で結局帝王切開になってしまいました。母子共に健康です。

しばらくして落ち着きましたらまた治療に通わせていただきたいと思います。

それでは。

——— ここまで ———

この方は、1年半ほど前に、胃腸障害でキュアハウスに通い始めました。

定期的に通っていた結果、体調全般が良くなり妊娠。

妊娠中も、首を寝違えたり、足がつったり、風邪をひいたり、つわりがひどくなったりと、いろいろな症状に苦しみました。その都度、当院で治療をしてきました。

そして、最後の来院時には、逆児の問題があり、改善するためのお灸治療を行いました。

その後の状況が、上記のメールとなります。

無事、逆児が改善し、普通に出産できるとホッとしたところ、前期破水。

そして、帝王切開と、かなりドタバタな出産となったようですが、母子共に健康が何よりですね！

このような報告は、非常に嬉しいものです。

当院へ通い始めてから、結婚⇒不妊治療⇒出産という、流れの患者さんが、最近非常に増えています。

鍼灸や整体は、身体を健康にするための、代表的な手技です。

身体が健康になれば、妊娠もしやすくなるものです。

意外と、不妊治療となると、病院に頼りがちとなりますが、自然の流れによる妊娠がお望みの方は、鍼灸や整体、漢方をお勧めします。

## ❖ 8：出産の痛み 陣痛の痛みと帝王切開 どちらをとりますか？

陣痛の痛みは、非常につらいもの。

「できれば避けて通りたい！」と思う方も多いでしょう。

そのため、帝王切開を望む人も出てきているようです。

身体的な問題や、胎児の状態によって、仕方なく帝王切開  
で

出産するというのは、母子共に健康を維持するために仕方  
ないことです。

ところが、陣痛の痛みが嫌だからという理由だけで、帝王  
切開を選び、医師もそれに従って、お腹にメスを入れてし

もう事があるようです。

この問題について少し話しておきたいと思います。

陣痛の痛みは、胎児とのつながりが一番強く現れるもの。

陣痛から出産までの時間が早く、痛みも少なく分娩できた場合、すでに胎児への愛情をいっぱい注ぎ、十分に精神も肉体も成長した状態で生まれてくる事が多いです。

それに引き換え、中々出産する事が出来ず、痛みを苦しむ事十数時間という方もいます。

この場合は、胎児はもっと母親に甘えたいと思っているかもしれないですし、まだ肉体的に出来上がった状態ではないかもしれませんね！



要は、「まだ出産には、少しタイミングが早かった。」という事になるかもしれません。

これは、妊娠から出産までの長い道のりの中、初めての別れとなるわけです。

1. 母親に強くしがみついていた
2. もっともっと甘えていたい
3. まだまだ離れたくない
4. もっと温めていてほしい

という、初めてのわがまを現わす時であり、十分に肉体も精神も育っていれば、自立心も育っているため、すぐ外出するようになるんです。

「まさかあ？」

と思うかもしれませんが、子どもというのは、大人目線で見ると、頭がよく成熟しているものです。

全ての行動に意味があるものです。

そればかりか、きれいな皮膚にメスを入れるという事は、一生涯、その傷を負った状態で、生活していかなければなりません。

これは、見た目の問題だけではないんですね！

実は、この帝王切開の傷が原因となり、冷え症や生理痛、便秘、腰痛、肩こり、足のむくみなどなど、たくさんの原因となる事があるんです。

しかも、それらどの症状も原因である、帝王切開の傷は、

一生涯消える事はないので、一生上記のような症状が、入れ替わり立ち替わり、さまざまな症状となって現れる可能性があるんです。

そのような症状が出ないようにするためには、一生涯において、帝王切開の傷を固めないように、気を配り続ける必要があるんです。

そう、一生です。

このつらさと、一時的な陣痛の痛みと、どちらが良いか？

もしかしたら、陣痛の痛みは少しだけで済むかもしれません。

そのような可能性も無視して、あなたはお腹を切りますか？

## ❖ 9 : 出産の痛み 帝王切開は悪いこと？

前回公開したこちらの記事、

[出産の痛み 陣痛の痛みと帝王切開どちらをとりますか？](#)

に対して、以下のようなコメントを書かれた方がいました。

—— ここから ——

無理やりお腹を切って引きずり出す…

すごく不快な表現です。

下から産みたくても産めない理由があって帝王切開になった人の気持ち考えて下さい。

と言っても無理かもしれませんが。

陣痛がこわいから帝王切開にしてくれなんて人ほとんど居ないと思いますが。

今は無痛分娩などありますし 帝王切開だって普通分娩だってお産はお産です。

そして帝王切開は決して楽なお産ではありません。

健康なお腹を切るんです。

術後は傷や子宮収縮の痛みで寝れない日が続きます。

帝王切開で産まれた子は母親の愛情不足のかわいそうな子なのではないでしょうか？

帝王切開＝楽なお産

という考えが日本では未だに根強く残っているようで悲しいです。

—— ここまで ——

非常に、重要なコメントを書きいただきありがとうございます。  
います。

「無理やりお腹を切って引きずり出す…」

この表現に対して、

「すごく不快な表現」

と仰っていただきました。

ありがとうございます。

本当に不快ですよね！

考えてみてください。

## 陣痛とは？

陣痛とは何でしょう？

陣痛は、胎児が母体の中での成長に満足し、外界へ出るための合図となるわけです。

さらに、陣痛を発した後に

「胎児が進むべき道」

というのも胎児は知っています。

そのため、逆走などせずに、産道から生まれてくるのが普通分娩ですよね！

## 帝王切開が必要な場合、不必要な場合

逆に、この産道上に何らかの問題があり、胎児が外へ出たくても、出ることができない。

または、胎児自体に問題が発見された場合に必要な技術が、

## 帝王切開



です。

また、分娩まで胎児を体内へ入れておくことができない母体を持った妊婦や、出産の痛み pani ック症状を起こしてしまう可能性のある妊婦にとっても、

**胎児と母体を守るために、帝王切開は、  
絶対的に必要な技術なんです。**

ところが、妊娠予定日を過ぎても陣痛が来ないからとか、出産の痛みに苦しみたくないという理由だけで、帝王切開に踏み切る人がいます。

今回、取り上げた話題は、後者に対してなんです。

**胎児の気持ちになってみましょう**

少し、胎児の立場になったとして考えてみましょう。

普通分娩の場合は、胎児が望んで出産となります。

そのため、胎児にとっては、満足な出産となるでしょう。

次に、胎児が出産を望んでも、産道が何らかの障害に襲われ、通れない場合。

または、臍帯が胎児に絡まり、動けなくなっている場合。

この場合、胎児は、母体内で出口を探し彷徨っていたり、  
出産しようともがき苦しんでいたります。

こんな時に、帝王切開してもらえれば、

## 「救世主、現る」

という感じで、

## 「助かったあ！」

と感動しながらの出産となるでしょう。

しかし、胎児は、まだまだ出産に見合った成長ができていなかったり、まだまだ、母親に甘えてしがみついていたかったりする場合。

いきなり、お腹が切り開かれ、母にしがみついている胎児を取りだされてしまうんです。

どう考えても、胎児にとってはショック極まりないですよ

ね！

これで、満足するのは、出産を単なる仕事と割り切っている医師と周りの医療関係者。

それだけならまだしも、母親まで、

「早く出産が終わってよかった。」

とってしまったら、生まれてきた赤ちゃんは、どう思うのでしょうか？

赤ちゃんは、生まれたてでは、全くコミュニケーションが取れません。

**しかし、全てを見て感じ取っています。**

そう、全てです。

**出産に必要な事は、絶対に赤ちゃんを無事に出産する事。**

次に母体を守ることですよ！

医師の勤務時間を守ることもなければ、母親の苦しみを避けるためのものでもありません。

**一番重要なのは、赤ちゃんが幸せに生まれてくることなんです。**

このコメントを書いてくれた suさんのように、赤ちゃんを深く愛し、親から授かった、大事な身体を労わることのできるお母さんが、どんどん増えてくれることを望みます。

赤ちゃんは、我々の宝です。

我々の未来です。

明るい将来を見れる、希望に満ちた赤ちゃんで溢れかえつたら、どれだけ、この世の中が明るくなるでしょうか？

もっともっと、赤ちゃんのことを考えられる、環境を作っていきたいですね！

su さん、

本当にコメントありがとうございました。

## ❖ 10 : 妊娠・出産・育児で症状が複雑化し改善できない

非常に複雑な症状と状況を抱えた方から、悩み相談が来ました。

内容は、

—— ここから ——

はじめまして ○○と申します。

現在 25 歳で 3 歳と 2 歳の子供とお腹に 3 か月の子がおります。

幼い頃から動悸、アレルギー多数あり、関節が 肩を動かす

だけでズレル感じがします。

初産で股関節が全く動かなくなり意識を失うかと思うほどの激痛に襲われ 今は歩けるのですが 関節はとにかく音をたててズレたり全身がとにかくだるく 日常生活も寝たり起きたりで家事をしています。

電話一本かけようとするれば破裂するんじゃないかと思うほど動悸が酷く疲れると同時に胃が空腹状態

胃痛めまい 動悸吐き気 震え 視界が白く眩しく目をあけられず立ってられないのです

もう何処の病院に行ったら良いのか  
何を診てもらえば良いのかも分からず  
どうか助けて下さい。



家族のために精一杯生きれる体になりたいです。

—— ここまで ——

非常に困難な状況に追い込まれているようですね！

いろいろと疑問に思う事が多いのですが、この文面から考えられる事は、

**妊娠・出産・育児に耐えられる体を作る前に、  
お子さんだけが増えてしまった。**

そのため、妊娠や出産、育児に身体が耐えきれず、いろいろな症状を発している。

そのため、何々病と言える状態ではなく、

## 全ての機能を、回復させる必要がある

という状況になっているという事です。

従って、どこで何を診てもらおうという個別の事よりも、全てをいっぺんに診てもらえるような、医療機関でなければなりません。

そのため、西洋医学では、総合診療内科。

東洋医学では、総合的にアプローチできる鍼灸師か漢方医を探す必要があると思います。

探し方としては、インターネットで情報を探し、片っ端から電話やメールで聞いてみるという事が必要かと思います。

**問題は、現在妊娠中という事。**

妊娠中の患者さんに対する治療経験が豊富な先生を探す必要もあるでしょう。

とにかく、諦めずに、症状を改善するために先生を探しましょう。

あなたの症状を改善するための、さまざまな方法を提供してくれる先生は必ずいます。

私を頼ってくれるのであれば、責任を持って診ていきます。

しかし、一番大事なのは、

## **育児や妊娠中の身体で、通い続ける事が出来るか？**

ということです。

従って、自宅から、もしくは生活圏から通いやすい病院もしくは治療院を探すことが先決かと思います。

## ❖ 1 1 : 東日本大震災の中妊婦がお灸でむくみを改善

足がむくんでしまう事ってつらいですね！

ブーツや靴下を脱いだりした時に、跡がビッチリ残っている。

その脚を見て、自分自身げんなりしてしまう。

こんな経験したことありませんか？

先日、妊娠10カ月の方が見えまして。

この方は、約2年半前から通院されている患者さんです。

約1年前に不妊治療を開始し、その後約4カ月で妊娠。

そして、すでに妊娠10カ月の状態にあります。

こんな大事な時期に、先日の巨大地震、東日本大震災がありました。

この震災の影響で、地震の直後から、急激に足がむくんでしまったそうです。

その時に取った対策が、お灸だったそうです。

足のむくみに気付いた直後、早速お灸を行い、翌日には、非常にスッキリした脚になっていたようです。

そして、もっとビックリしたのが、妊娠10カ月にして、

身が軽い事。

動きが軽やかなんです。

10カ月ともなると、お腹が非常に張っていて、動きもゆっくりになってしまふところ。

しかし、この患者さん、動きが非常に機敏で、妊娠10カ月とは思えない位の動きでした。

お灸に関しては、初診当時から繰り返し行っていたので、非常に慣れている状態でした。

しかし、巨大地震の後、余震がいつ来るか分からない状態。

そんな危険な状態にもかかわらず、お灸の効果を知ってい

るがために、むくみ改善を第一として、自分自身で行なった対策。

そして、その結果、次の日にはスッキリさわやか！！

このように、自力で症状を改善できるようになると、こんな危機的状況にもかかわらず、病院や治療院に頼らずに、楽になる事が出来るんですね！

これが、私の求める医療です。

出来るだけ、自分の時間は有効に使い、無駄な出費をなくしましょう。

自分の身体は自分が一番知っているはずです。

ということは、改善するタイミング、改善する方法などは、  
自分が一番分かっているはずなんです。

自分の身体のはずが、自分が一番自分の身体のことを知ら  
ないのが普通になっています。

身体は使うだけではダメです。

使うのならしっかりと癒してあげましょう。

使わなければ老化するだけです。

寿命が短くなるだけです。

早死にしたくなければ、医療に頼るだけじゃなく、もっと  
自分の身体を知りましょう。



## ❖ 12：流産後にのどのつまり感や吐き気・背中痛みが・・・？

ストレスから起る症状というものは、さまざまな現象を起こします。

そのほとんどの症状が、西洋医学では、原因不明、もしくは自律神経失調症やうつ病と診断されることが多いようです。

そして、この診断で納得されている人は非常に多いようです。

であれば、すぐに治っているはずなのに、治っていないことが多い。

おかしいと思いませんか？

今回は、この謎に迫ります。

今日の相談内容は、

————— ここから —————

今年7月に二人目を流産しました。

8月に入り、突然喉のつまり感があり、耳鼻科にて内視鏡を  
してもらいましたが異常なし。

更に酷くなる為消化器内科で検査(胃カメラ、血液検査)を  
しましたがまた異常なし。

漢方薬で喉のつまり感は一週間程で改善されてきましたが、  
今度は吐き気と背中痛みが出てきました。

病院を変え、また検査(胃カメラ、血液検査、尿検査、腹部  
エコー)をしましたがいたって健康体でした(ポリープは2  
つ見つかりました)

こうなると身体は不調なのに検査では何も出ない。

やはり流産からのストレスが引き金でしょうか？

ストレスでこんな状態になりますか？

毎日、 誰か助けて、と思っています。

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。  
ありがとうございます。

感謝しています。

さて、苦しい悩みを相談いただきましたが、メチャメチャもったいない経験をされていますね！

はじめに症状が出て、西洋医学の病院へ。

そして、異常なしと診断。

そこで、東洋医学の漢方を飲み、あっさりと1週間で改善。

次に起きた症状に対して、またもや西洋医学へ行き、異常なし。

この流れ分かりますか？

ご本人も、

## 流産からのストレス

というのを、気にかけています。

なぜ、ストレスに強い東洋医学でなく、ストレスに弱い西洋医学を選んでしまうのか？

本当にもったいないと思います。

もし、漢方を飲んだことで、新たな症状が現れたと思うのであれば、それは、漢方で対処するのが筋なんです。

もちろん鍼灸でも可能ですが、何のために何の目的で漢方を出したのかは、その先生に聞かなければなりません。

それが答えられないのであれば、もっと漢方に詳しい先生  
の所へ行けばいいだけです。

確実に覚えてもらいたいのは、

西洋医学⇒病気や怪我を見つけ、それらを治すところ

東洋医学⇒手術が必要な疾患や感染症以外の様々な症状を  
治すところ

これを、はっきりと覚えてください。

まず、西洋医学へ行き、異常があれば、そのまま治療を受

け、異常がなければ、即東洋医学へ行く。

これが、最も無駄のない治し方です。

東洋医学にも、西洋医学のように専門でわかれている部分  
もありますので、受診前に、しっかりと電話等で確認して  
みてください。

まずは、漢方が鍼灸を受けてみましょう。

あなたの症状は、東洋医学では、定番中の定番です。

長くやられている先生であれば、すぐに改善してくれると  
思いますよ！

## ❖ 13 : 不育症で2度の流産後に・・・？

今回は、メチャメチャ嬉しいご報告です。

内容は、

————— ここから —————

お世話になっております。

本日、病院に行ってきました。

赤ちゃんの心拍の確認ができましたよv(^ ^ )v (診察で知っていましたよね(^ ^))

胎芽の大きさは標準ですが、胎囊の大きさが小さめなの



でまだ安心はできませんが、とりあえず第一関門突破です！

次回の病院診察は 21 日で、キュアハウスの診察が 22 日です。ので、良い報告ができればいいなあと思っております。

先生に診ていただき、心も体も前進できました。

ありがとうございます。

まだこの先もお世話になるとは思いますが、宜しく願いします。

お忙しいでしょうから、返信は不要です。

とり急ぎ、ご連絡まで。

本当にありがとうございました。

————— ここまで —————

この患者さんは、今年に入って、キュアハウスで不妊（不育）治療を始めた 40 代の方。

今年に入って、2 度目の流産。

そのための手術を回避したい、ということで初めての来院。

2 度目の流産から、ずっと続いていた出血を止めるために、お灸治療と、自宅でもお灸を続けていただき、ようやく 3 か月間かかり、出血は治まり、手術も回避できました。

その後、病院で不育症と言われ、その対策として、不育症

の治療を始めました。

始めは、妊娠できる身体の状態ではありませんでした。

これは、内臓の状態という意味です。

けれど、骨格的には、妊娠しやすい骨格を持っていたことで、妊娠はする。

しかし、胎児が育たないということになっていました。

そこで、徹底的に内臓を正し、胎児を育てられる環境づくりを始めました。

この中には、当然来院時のお灸治療が中心となるのですが、それ以外に、自宅で毎日お灸をしていただき、生活習慣も改善する努力をしていただきました。

そして、今回、妊娠したというご報告と共に、まだ心拍が確認できていないという報告をいただきました。

そこで、胎児の成長を促進させるようなお灸治療を行うことで、かなり、しっかりした脈を得ることができ、これなら心拍を確認できるだろうというところで、今回の内容になりました。

しっかりと心拍を確認できたようで、本当に良かったです。

ただ、ただ、まだまだ安心してはいけません。

今、ようやく第1関門が突破しただけ。

次は、安定期に入ること。

ここを目指して、健康管理をしていきましょう。

そして、今回は、必ず赤ちゃんにあいさつできるところまで行きましょうね！

# もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、  
全102ページ、販売価格1,980円

## あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを無料でプレゼントさせていただきます。  
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。  
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。  
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス  
キュアハウス鍼灸治療院  
院長 中村幸生